

兄弟、姉妹の皆様にとり、祝福に満ちた金曜日でありますように。

全能の主は以下の章句において、次のように定めておられます。「あなたがた信仰する者よ、謙虚に悔悟して神に帰れ。恐らく主は、あなたがたの様々な悪を払い、川が下を流れる楽園に入らせるであろう。その日、神は、預言者やかれに従って信じる者たちを、辱しめ(はずかしめ)はしない。……」

**兄弟、姉妹の皆様!** アーヤにおいて述べられている通り、「インナラーヒ ユヒップ =ル タッワービーンワ ユヒップ=ル ムタッヒリーン」、私たちの主は、悔い改める者を愛したまいます。祈りの中で差し伸ばされた手に、主がその背を向けることはありません。深いところから求めてくるその心を、見捨てたもうことはありません。悔い改めて涙を流す者を、不十分のまま置き去りにしたもうことはありません。

**尊敬すべき信仰者の皆様!** 私たちは皆、人間であります。私たちは試練の世界を生きており、罪を犯すのも善行をなすのも、私たち次第であります。私たちは、ある時は罪に抵抗し、またある時は不注意にふるまって、過ちを犯します。しかし私たちの罪に対し、私たちの主の慈悲の門は、広く開け放たれていることも、私たちは知っています。私たちがすべきこととは、過ちや罪に固執するのをやめ、それらを正すという美德を示すことであります。そして主の恵みに、避難することです。心からの悔い改めと、心からの祈りをもって、主の赦しを求めることです。

**兄弟、姉妹の皆様!** 悔悟とは、自らが無力であるということを認めることであります。それは神との誓いを守るにあたり、時として私たちが力不足に陥るということ、あるがままに申し述べるということ、全能の主は悔悟の祝福について、聖クルアーンを通し、最初の人間の物語をもって私たちに教えてくださっています。アーダム(彼の上に平安あれ)とその妻、母なるハワは、次のように神に悔悟なさいました。「ラッバナーザラム ナー アンフサナーワ イッラム タグフィル ラナーワ タルハムナー ラナクーナンナ ミナル ハーシリーン」、すなわち「主よ、私たちは誤ちを犯しました。もしあなたの御赦しと慈悲を御受けできないならば、わたしたちは

必ず失敗者の仲間になってしまいます。」

**兄弟、姉妹の皆様!** 悔悟とは、私たちの慰めであり、希望の源(みなもと)であります。危機が訪れた時には、避難することができる安全な港であります。なぜなら私たちが過ちを犯し、誰もが私たちを見捨てたとしても、私たちの主は決してお見捨てにはならないからです。たとえ他の誰もが見捨てようとも、神は決して私たちを置き去りにしてはたしません。「インナッ=ラーハラー ヤグフィル ア(ン) ユシユラカビヒワ ヤグフィル マードウーナ ザーリカリマ(ン) ヤシャアー」、すなわち「本当に神は、(何ものをも)かれに配することを赦されない。それ以外のことについては、御心に適う(かなう)者を赦される。」私たちがすべきこととは、主の存在とその唯一性に対する自らの信仰に忠実であるということ、ただそれのみであります。主の広大な恵みを、決して諦めないことでもあります。主の赦しを、決して自ら捨て去らないことでもあります。私たちがすべきこととは、時として私たちに罪に追いやる自らの弱さについて、真摯(しんし)に主の赦しを乞い願うこと、ただそれのみであります。

**兄弟、姉妹の皆様!** 現世の喧騒にかまけ、時として来世を忘れてしまいがちになることを、共に悔い改めましょう。時として、最も身近な人に対してさえも愛情や気づかい、慈しみを忘れてしまうことを、共に悔い改めましょう。自らの配偶者、子供たち、親類や孤児たち、家を失った人々や、困窮している人々を顧みず(かえりみず)にいたことを、共に悔い改めましょう。主が私たちに委ねたもうた、お互いの権利を守らずにいたことを、共に悔い改めましょう。何故ならそのために、私たちは預言者(彼の上に祝福と平安あれ)が命じられたような、多くの部分からなるひとつの身体、多くの煉瓦からなるひとつの館にはなれずにいるからです。たとえ犯した罪が大きかろうと、悔悟を受け入れてもらえない罪人はいないのだということを、決して忘れないようにしましょう。